

心からのご寄付を ありがとうございました

2月21日～3月20日

村上順子	現金	1,620円
青森県社会福祉協議会	切手	10,025円
奈良美香	現金	2,725円
勝木敬子	切手	6,245円
中野京子	現金	10,000円
小田耕作	現金	700,000円
佐藤文美	切手	2,970円
切明隆	現金	20,000円
毎日新聞東京社会事業団・		
毎日新聞大阪社会事業団	現金	2,000,000円
根塚喜久子	現金	100,000円
原田親・西村義之	現金	300,000円
八幡屋チャリティコンペ募金	現金	136,000円
鈴木純子	現金	1,340円

●佐藤きち子患者支援基金

切明隆	現金	20,000円
匿名	現金	640,000円
松尾玲子	現金	50,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座

さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754

全国骨髄バンク推進連絡協議会

3月18日、東京新宿の全労済東京会館において、99年度第3回全国代表者会議が開催されました。協議された内容を掲げます。(順不同)

●NPO法人格取得
4月下旬に認証され、5月上旬には登記の予定。

●情報誌「骨髄バンク」第6号
3月21日納品、順次発行へ。

●「いのちのバトンリレー」
遠藤允氏の著者が発行。

●緊急対応アンケート
公開フォーラム用に患者ドナーに「対面」に関し緊急実施。

●診療保険点数4月から改悪

●移植術、採取術にHLA検査費用を含み微増するも現状を反映せず。

●会費納入状況
加盟団体費納入状態の報告。

●舞台「友情」再演
今年8月以降、東京・大阪・

代表者会議 報告

より機能する システムに向け熱い討論 第3回公開フォーラム

あいさつする小此木衆議院議員



全国協議会と財団の共催による第3回公開フォーラム「より機能するシステム」が3月19日全労済東京会館で160名の参加者で開かれました。

フォーラムでは冒頭「骨髄バンクを応援する若手議員の会」のメンバーでドナー経験者でもある小此木衆議院議員が激励の

3人の座長(左から)斗ヶ沢氏、田辺氏、高野氏



挨拶をされ、以下4つのテーマで熱心な討論が交わされました。

テーマごとの主な討論内容を紹介します。

- 3年で30万人を
30万人達成に向けた方策として、従来型に加え、保健所巡回型、官庁・企業・学園などのドタイプ方式の確立。HLA検査システムの抜本的な改革、年齢制限の検討など。
- 対面について語り合おう
対面についての賛否両論。実施する場合のシステム確立の課題。
- ベストな救命の仕組みを
コーディネートの短縮に向けた財団・日赤・病院の課題、患者擁護部門の確立、患者負担金の解消に向けてなど。
- 新治療法と骨髄バンク
末梢血幹細胞移植の現状と課題、臍帯血バンクとの連携のあり方、行政の積極的な支援など。
- フォーラムの最後に、テーマごとの座長を務めていただいた高野(読売新聞)・斗ヶ沢(毎日新聞)・田辺(朝日新聞)の各氏から、討論のまとめの発言があり、8時間におよぶフォーラムを終了しました。



熱心な論議を支える体制
公開フォーラムの舞台裏

今回3回目を迎えた公開フォーラムは、骨髄移植推進財団と全国骨髄バンク推進連絡協議会の行動の主催で開催されています。その準備や運営にあたっては、財団と私たち全国協議会で委員を出しあって実行委員会を組織しています。内容の検討やパネリストの選定などについては、2カ月前から当日まで実行委員会を8回ほど開いて、いろいろ話し合いながら準備を進めてきました。

願いは30万人のドナー登録!

好評発売中!

いのちのバトンリレー

造血細胞バンクのいま

●遠藤 允:著 ●四六判
●定価:本体2,200円(税別)
ISBN 4-89814-102-1

●発行/ローカス ●発売/角川書店 ●お問い合わせ:03-3837-1102

しかし、実務的な準備のほとんどは全国協議会の事務局が担当しています。今回準備した資料集は、160ページにもなるものです。この資料集を450部作成するには、3日間にわたって事務局の印刷機がまわり続けました。さらに、海外作戦での製本作業、その他会場準備や掲示物、懇親会に至るまで公開フォーラム準備には事務局は大忙し、お疲れさまでした。

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●3月8日(水)、韓国から初の骨髄提供がありました。進む国際協力!
韓国とは、昨年(99年)5月、試験的な相互検索提携を結び、これまで日本から韓国へは12例(提携前含む)の骨髄提供をしてきましたが、3月8日(水)、韓国から日本への初めての骨髄提供が行われました。骨髄提供者は、韓国骨髄バンク(KMDP)のドナー登録者、30歳代の男性。ソウル近郊の病院で採取された骨髄液は、当日夜、名古屋空港に到着。ただちに、愛知県内の認定病院で、10歳代の急性骨髄性白血病の患者さんに骨髄移植されました。これを契機に、日韓両国民の善意による相互の骨髄提供の活発化が期待されます。今年は、関係者のご努力によりアジアにおける国際協力が格段に進展するものと予測されます。

●末梢血幹細胞移植(PBSCT)が4月から保険適用に
4月から同種末梢血幹細胞移植(PBSCT)に医療保険が適用されることになりました。PBSCTは、体内を循環する血液(末梢血)に含まれる造血幹細胞を採取して移植する方法です。提供者に事前に末梢血中の造血幹細胞を増殖する薬剤を注射し、成分献血と同様の採血の要領で造血幹細胞を採取し、移植しますので、全身麻酔によって骨髄を採取する必要はありません。4月から保険適用になるため、血縁者間移植では保険でカバーされます。財団が行う患者とドナーのコーディネート業務に関して、末梢血幹細胞の仲介も行うかどうかの検討を財団では開始しました。

企画管理委員会を中心とした各委員会などで、末梢血幹細胞を採取するときのドナーの安全性、コーディネートの進め方、患者の治療成績、ドナー登録者への情報提供、組織体制の整備など、多くの対応課題について集中的に議論を進めていくこととなります。現在のところ、方針や日程などは決まっていません。

●骨髄移植関連の診療報酬点数が改定されます
本年4月より、骨髄移植をはじめとする造血細胞移植に関する診療報酬点数(医療保険の給付額)が改定されます。

同種骨髄移植 21,000点 → 22,600点、
移植骨髄穿刺 15,000点 → 16,600点、
(移植のための骨髄採取を意味します)
臍帯血移植 21,000点 → 26,600点。
また、同種末梢血幹細胞移植38,000点が新設されます。

骨髄バンクNOW

●「骨髄バンクを応援する若手国会議員の会」、多彩な支援を継続
「骨髄バンクを応援する若手国会議員の会」の総会が3月6日、参議院会館で行われました。野田聖子会長、岩城光英事務局長をはじめ小宮山洋子、浜田靖一、馳浩、林芳正、渡辺孝男の7議員と、議員代理として秘書14名が多忙なか参加されました。野田会長から、議員の会から正式な議員連盟として衣替えを行いさらに活動を強化することが提案され合意されました。来賓の厚生省臓器移植対策室の朝浦室長は、骨髄バンク事業への政府の前向きな対応を説明。財団の増岡事務局長からは、これまでの支援へのお礼、現状報告、今後の活動への支援依頼を行いました。同会は、本年度、財団への補助金増額、患者負担金の軽減要望などに理解をいただき、多彩な活動をしてくださいました。引き続き強力なサポートをくださる方針を決めていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。メンバーからは自衛隊、郵便局、大企業など、官公庁や職場でのドナー登録会を積極的に行ってほしいとの意見が出されました。また、国会議事堂や地元での登録会の企画など多彩なアイデアも出され、今後の活動を巡って活発な意見が交わされました。

●ドナー登録者拡大は赤信号! 抜本的なドナー登録者増加策が必要に
2月のドナー登録者の実質増加数は、1月の212名に引き続き極めて低調で、わずか463名となりました。骨髄バンク発足以来、最悪の月間増加数が続いています。ドナー登録者の取消し数が多いと言うだけでなく、ここ数カ月、新規ドナー登録者数も1000人程度と低迷しています。テレビ、新聞などでのCM放映・掲載がかつてないほど少ないことが主な原因と考えられますが、各地でのイベントや運動などもマンネリ化が見られるとの指摘もされています。抜本的なドナー登録者増加策について、関係機関などのご協力を得ながら、新たな観点に立った取り組みをはじめべき時期と考えられます。

●日本骨髄バンクの現状(2000年1月末現在)

	2月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,139	126,699	146,559
患者登録者数	131	1,747	8,982
骨髄移植例数	61	—	2,491

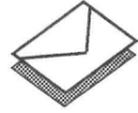
注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

情報誌「骨髓バンク」第6号

本紙増刊号のオビニオン情報誌「骨髓バンク」第6号が2000年3月発行になりました。「臨界事故と被曝医療」や「全国キャラバン」の特集のほか、「無菌室を使わない骨髓移植」など、興味深い記事が満載です。



各地の あなたより



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

千葉 集団登録と チャリティコンペ

2月27日、千葉市蘇我において休日のドナー集団登録説明会が行われました。当日は天候にも恵まれ登録結果は67名、うち予約無し飛び込み登録者は4名でした。登録者へ財団が行ったアンケートの結果によると、市の広報誌や新聞を見て予約された方が全体の60%を占めていたそうです。登録をしたいと

思いながらもその窓口や手段がわからないという人が案外多いのではないのでしょうか。登録へと踏み出す一歩をお手伝いさせていただきます。工夫なども研究していきたいと思えます。

また、会場となった勤労市民プラザのロビーには「MAMOC心のメッセージ展」を同時開催しました。当日、別の目的で来館していた多くの家族連れ(約400人)の胸にも守君のメッセージが刻まれたことでしょうか。



また、3月14日、千葉市緑区の東急セブンハンドレッドゴルフクラブにて、第15回八幡屋チャリティゴルフコンペが参加者

182名により開催されました。天候にも恵まれ、参加者は日ごろの腕を發揮し、プレーに興じました。また、プレー後のパーティではおいしい料理に舌つづみ、たくさんのお菓子が用意されており受賞者は大満足でした。

八幡屋(中村雅人様)は、超多忙の中のようにたくさんの方々に協力を呼びかけ、募金にも協力して頂きました。本当に頭の下がる思いです。骨髓バンクに関心を持っていただいております。「一人でも多くの患者さんにドナーが見つかることを、いつも願っています」と話していました。



三重 J.C.協力で 登録者が73名

3月5日、一志町農村環境改善センターで休日キャンペーン登録会を久居青年会議所のご協力で開催しました。この日登録をしてくださった方は何と73名。県内の登録会では、過去もつと多いドナー登録者数となりました。

近くには、清少納言ゆかりの日本三大名湯の一つ神原温泉と風力発電施設があり、全国的にも注目されている所です。

県下で開催する登録会は、勇気の会が独自にマニュアルを作成し、ボランティアとしてできる登録者の案内、ビデオ上映等役割分担を担い、行政と骨髓デ

ーターセンターが協力して開催しています。また、伊賀支部が演じる白血病の少女をテーマにした、いのちの演劇「華」も上演され、集まった聴衆に大きな感動を与えました。演劇を観た後で多くの人が、ドナー登録をしてくれたのが印象的でした。

奈良 フェスティバルと 県内初の集団登録

3月19日、奈良県大和郡山南公民館にて「骨髓バンクフェスティバル in Nara」が、生憎の雨の中250余名の方々の参加で開催されました(主催・骨髓バンクフェスティバル in Nara 奈良県健康対策課・法隆寺青年会議所・大和郡山青年会議所・奈良骨髓献血の和を広げる会)。

基調講演では奈良県立医科大学輸血部松本雅則医師の「造血幹細胞移植の現状」パネルディスカッションでは「骨髓移植の現状とドナー登録の実態」と題し、松本医師・作家の遠藤允氏・ドナー経験者としてマラソンランナーの深尾真美さん・ドナー待ちの患者さん寺坂由紀子さん・法隆寺大和郡山青年会議所副理事長が、それぞれの立場から熱く語り合いました。

公民館のお隣の、奈良県骨髓データセンターでは、奈良県初のドナー登録会を開催しました。

のドナーキャンペーン登録会が行われ、予定数30名の所35名の登録がありました。遠藤氏の著書「いのちのバトニリレー(登場人物が本日7人も揃いました)」が発刊されたばかりで、図書販売では即席のサイン会になりました。

福岡 創作劇と キャンペーン登録

3月5日(日)福岡県原町市で(社)原町青年会議所創立30周年記念事業「いのちのボランティア」が開催されました。骨髓バンクをテーマに講演会・創作劇が行われ、高校生によるボランティア発表会といずれも感動的な内容でした。隣の会場では福祉施設によるフリーマーケットと献血と骨髓バンクの登録会が行われました。

骨髓バンク登録は39名。JCによる事前PRが行き届いていたようです。原町JCは今まで毎年骨髓バンクに対して関連事業を開催してくれる等とても協力的でしたが、特に今回は中味の濃い物凄いイベントでした。

福岡 医療講演会&相談会

九州で初めての再生つばさの会医療講演会&相談会を2月26日に福岡市で開催しました。初めてということ、朝から冷たい雨が降っており、どのくらい集まってくださるのだろうか不安でしたが、九州一円から90名近い方々が参加されました。

講師の3人の先生方からは、病氣(再生不良性貧血、MDS、PNH)についての基本的なことから最新の治療法をお話していただき、そのあとの質疑応答では予想以上のたくさん質問が寄せられ、大勢の患者・家

族の方がこのような機会を待つておられたと言うことを実感しました。同じ病気の人と初めて出会って話ができたことで、とても元気づけられたという方もおられ、今回九州で実現できて本当によかったと思えました。



本気で考えるなら



健康?!

ワンランク上の昆布パワーが
あなたに健康をバックアップ
健康に役立つ成分が豊富な、伝統的な天然素材昆布
を独自の製法で、ワンランク上の昆布パワーを
引き出し、清涼飲料に凝縮しました。

健康志向のあなたに、海の贈り物
ハイオ飲料
アオイデン-U
1ケース(50ml×30本)単位で発売しております。
*特許出願中

＜販売店＞
宝バイオヘルスケア株式会社
0120-810-771
*各都府県風光店においても販売しております。
＜発売所＞
宝酒造株式会社バイオ事業部門
TEL:077-543-7208

リゲインがあるじゃないか。

黄色と黒のチカラ。
肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。

J-リゲイン

●大人1日1回1本、J-リゲイン 100ml・194円
価格はメーカー希望小売価格(本体価格)

三SANKYO 共
医薬部外品